

# SY-C5 C-HR専用 電源BOX 取扱説明書

※本製品および接続する電装品の取り付け・取りはずし・操作は、必ず安全な場所で停車して行なってください。  
 ※取付作業は常温下で行なってください。炎天下や極低温時には行わないでください。

R-0531

## 車両への取付・取りはずし方法

**取付準備** 取り付ける前に必ず本製品の通電確認およびスマートフォン/携帯電話等との接続動作確認をしてください。

- ① コンソールボックス内のアクセサリソケットに本製品のカーブラグ部を差し込み、車のエンジンをかけてください。通電モニターランプと充電状況お知らせランプが青く点灯します。(図13)
- ② 点灯確認後、接続機器の使用方法を参照してスマートフォン/携帯電話等の接続動作確認をしてから、エンジンを切り、取り付けを開始してください。

### 取付方法

**1** 車両のセンターコンソール小物入れの底面に敷いてあるクッションをめくり、取りはずします。(図1) ※クッションは柔らかいツメで、簡単にははずせません。

**注意** 取りはずしたクッションを紛失しないように保管してください。

**2** 本体部を内装に傷を付けないようにセンターコンソール小物入れにあてがい、取付場所を確認します。(図2) その際、コードは、本体側面のガイド(2箇所)に沿うように取り回してください。(図3)

**3** 取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。(脱脂作業)

**4** 本体部の両面テープ剥離紙(2箇所)をはがし(図4)、**2**で確認した場所に一度しっかりと貼り付けます。コードをセンターコンソール小物入れと本体部の間に挟まないよう注意しながら図5のように四隅をしっかりと押さえつけ、本体部とセンターコンソール小物入れの間にすき間ができないようにしてください。

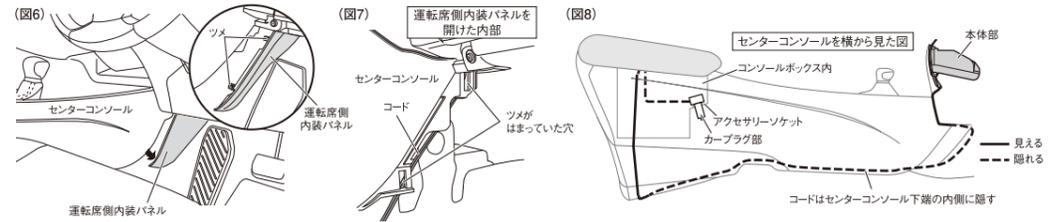
**注意** 両面テープ貼り付けに関する注意事項を参照してください。



**5** コードを配線します。まず、運転席側内装パネルのツメ(2箇所)を慎重にはずし、運転席側内装パネルを開きます(図6)、はずしたツメがはまっていた穴(2箇所)の後ろ側にコードを通すように配線し(図7)、運転席側内装パネルを元に戻します。

**注意** 運転席側内装パネルをはずす際は、ツメが折れないように注意してください。運転席側内装パネルを元に戻す際は、コードを挟まないように確実にはめてください。

**6** 図8を参照して、カーブラグ部がアクセサリソケットに届くようにコードの配線イメージを確認します。



**7** コードをセンターコンソールの下端の内側に押し込みながらコンソールボックス下まで取り回し(図8・図9)、図10のようにコンソールボックス側面にコードをはわせて、コンソールボックス内にあるアクセサリソケットまで配線します。その際、コード隠しカバー(2枚)を貼る位置(図12)を決め、取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。(脱脂作業)

**注意** コードを無理に引っ張ったり、シートレールに挟まないように注意してください。断線の原因となります。

**8** コードが平らになるようにコード隠しカバーのくぼみ部分に入れ(図11)、剥離紙を剥がして**7**で決めた位置に一度でしっかりと貼り付けてください。

※残りのコード隠しカバーは、必要に応じてコンソールボックス内の配線隠しに使用してください。

**注意** コード隠しカバーが長すぎる場合は、はさみ等でカットしてください。コード隠しカバーの中でコードが折れたり、はみ出したりしないように注意してください。コード隠しカバーはコンソールボックスの縫いには貼らないでください(図12)、コンソールボックスのフタが閉まらなくなったり、コード隠しカバーは角度が急な段差等には貼ることができません。コードを無理に引っ張ったり、挟まないでください。はがれる原因となりますので、コード隠しカバーを重ねて貼らないでください。

### 両面テープ貼り付けに関する注意事項

●取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。●両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたらしないよう注意してください。●両面テープの貼り直しはおやめください。●両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間安定します。それまでは強い力を加えたり、本製品を使用することはおやめください。●本製品を取りはずす際は、内装を傷めないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはし剤を使用してください。●取付部分が多少変色したり、取付跡が残ったりする場合があります。

**9** 車のエンジンを切った状態(アクセサリ電源もOFF)で、アクセサリソケット内をよく掃除します。

**注意** アクセサリソケット内が汚れていると、接続不良の原因となり、発熱・発火等のおそれがありますので、よく掃除してからカーブラグ部を差し込んでください。

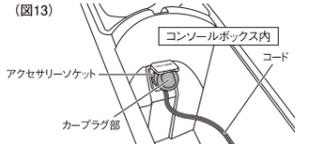
**10** カーブラグ部をコンソールボックス内のアクセサリソケットの奥までしっかりと差し込み(図13)、車のエンジンをかけます。

**注意** カーブラグ部が確実に差し込まれていないと接続不良やカーブラグ部が溶解するおそれがあります。

### カーブラグ部の取りはずし方法

カーブラグ部は落下防止のため、固めの設計になっています。カーブラグ部をアクセサリソケットから抜く際は、コードを持たずにカーブラグ部を持って、指でアクセサリソケットを押さえながら徐々に抜いてください。(図13)

**注意** 取りはずす際、カーブラグ部が熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。



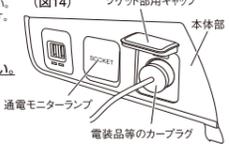
## ソケット部について

### ソケット部の使用方法

ソケット部用キャップを開け、電装品等のカーブラグを差し込んで使用します。(図14)

※ソケット部用キャップを引っ張ったり、無理に押し上げたりすると破損の原因となりますので注意してください。

**注意** ●電装品等のカーブラグを差し込む前に、車のエンジンを切った状態(アクセサリ電源もOFF)で、ソケット部内側をよく掃除してください。汚れていると、発熱・発火等のおそれがあり、大変危険です。●ソケット部に電装品等を接続している時に本製品の過電モニターランプが消えた場合は、直ちにソケット部から電装品等のカーブラグを抜いてください。電装品等のカーブラグを抜いた後に過電モニターランプが再度点灯した時は、本製品のヒューズ切れや故障ではなく、電装品等のショートや故障等が発生している場合があります。●急発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドル時や、急カーブ・急降・急登の急い路上の走行等により、カーブラグとソケット部がゆるみ、確実な通電が確保できなくなる場合があります。使用前にカーブラグがソケット部の奥まで差し込まれているか確認してください。●ソケット部を無理に引っこ抜いたり、ホコリやゴミが入るのを防ぐため、ソケット部用キャップを閉めてください。(図14) ●使用する電装品等のカーブラグの形状やサイズによりソケット部用キャップと干渉する場合があります。



### 電装品等の取りはずし方法

必ず本体部を押さえながら電装品等のカーブラグをしかり持ち、徐々に抜いてください。

**注意** ●本体部を押さえずに電装品等のカーブラグのみを抜くと、本製品のはがれや破損の原因となります。通電モニターランプを取りはずす際、カーブラグが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

## USB充電について

### 接続機器の使用方法

安全に使用するために、接続機器の電源を必ずOFFにし、接続機器のUSBコネクタをUSBポートへ接続します。(図15)

※USBポートはどちらの向きでも差せるリバーシブルタイプです。接続された機器を自動検知し、最適な電流を供給する自動判別機能付きです。

**注意** ●USBコネクタによっては差し込みにくい場合があります。ゆっくりと確認しながら差し込んでください。●USBポートにUSBコネクタを差し込み、接続している時にUSBコネクタに無理な力を加えないでください。●USBポートに接続機器を接続している時に本製品の充電状況お知らせランプが消えた場合は、そのまま使用せず、直ちにUSBコネクタを抜いてください。接続機器のショート・故障等の発生によるヒューズ切れや、最大出力電流超過等の可能性があります。●USBコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。無理に差し込んだり、引っこ抜いたり、傾ける等の差し込み不良があるとメモリーデータ破損・消失や故障の原因となります。●接続機器を接続したままエンジンをかけたり、切ったりしないでください。



### 充電状況の確認方法

●充電状況お知らせランプの点灯色で充電状況の目安を確認することができます。

接続機器を接続していない時	青色点灯
接続機器のバッテリー状況が約0～94%	赤色点灯
接続機器のバッテリー状況が約95～100%	青色点灯

### 接続機器の取りはずし方法

安全に取りはずすために、接続機器の電源を必ずOFFにし、接続機器のUSBコネクタをUSBポートから抜いてください。

※接続機器によっては、充電中に電源をOFFにできない機種があります。●USBポートは接続不良防止のため、固めの設計になっています。USBコネクタを抜く際は、コードを持たずにUSBコネクタを持ち、必ず本体部を押さえながらUSBコネクタをまっすぐ抜いてください。

**注意** ●本体部を押さえずに接続機器のUSBコネクタのみを抜くと、本製品のはがれや接続機器破損の原因となります。取りはずす際、USBコネクタが熱くなっている場合がありますので、十分注意して抜いてください。

### USBで給電・充電する際の注意

●連続使用時間が長い場合や充電条件により、本製品内蔵の保護回路が作動し、充電が止まったり(充電状況お知らせランプが消える)、断続的な動作になる(充電状況お知らせランプが点滅する)場合があります。前述を保護するためであり故障ではありません。そのような場合は、一旦接続機器を取りはずし、時間をあけて使用してください。●一部の機種では電池温度管理のため充電できない場合があります。正しい充電(標準電圧)で50～70%程度充電してから使用してください。●充電時および充電後の使用時間は、機種・電池パックの種類・状態・使用環境によって異なります。●充電中に接続機器を使用すると充電時間が長くなります。●機種によっては充電しても接続機器側の充電レベルが表示しない・変化しない・減充電にならない場合があります。●本製品の連続使用は2時間までとさせていただきます。充電される接続機器の電池パック寿命の低下につながるおそれがあります。また、USBコードの抜き差しによる接続機器の故障等の原因となります。●接続機器の充電完了表示に関しては、接続機器に付属している取扱説明書を確認してください。●接続機器の電池パックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池パックへの変更をおすすめします。●30分以下の短時間の充電では電池表示レベルが上がらない場合があります。●本製品・接続機器・電池パックが高熱になった場合や発煙・ショートがあった場合は直ちに使用をやめてください。

### 警告 ご使用前に必ずお読みください。

●運転操作やエレクトロニクス等の動作に支障のないよう使用してください。●臭気・発熱・発煙・発火等の症状がみられた場合は、直ちに本製品を取りはずし、使用をやめてください。●火の火等、火災を近づけないでください。火災の原因となります。●走行中、運転中は本製品の操作および電装品・接続機器等の脱着・操作はしないでください。事故の原因となります。

### 注意 ご使用前に必ずお読みください。

●用途以外の目的で使用しないでください。●本製品に強い衝撃を与えないでください。●本製品を使用する際には車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。●本製品の脱着、および本製品のソケット部内側の掃除の際は、必ずアクセサリソケットに連電していない状態で行なってください。●本製品のUSBポートやソケット部に、電装品・接続機器等のカーブラグやUSBコネクタ以外の物を差し込まないでください。●本製品の使用により、本体部・USBポート・ソケット部に塵がたまりやすくなります。●本製品は金属部分が熱くなる場合があります。発熱の際は注意してください。●本製品は鋭利な部分が多いため、取り扱いには十分注意してください。●本製品は使用状況や経年変化により、変色・劣化等が発生する場合があります。●使用温度範囲外では使用しないでください。●本製品が発する光を直射したり、運転中や車外に向けたりしないでください。●濡れた手での操作や水分がかかるような状況では絶対に使用しないでください。●カーブラグ部をアクセサリソケットに差し込んだまま回転させないでください。●コードに負荷がかかる・根元を捻す・引っ張る・巻く・曲げる等の行為をしないでください。●本製品の分解・改造・加工等は絶対にやめてください。破損・故障・破損・ショートの原因となります。●ソケット側のヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定外のヒューズを使用すると、発熱・発火等の原因となります。ヒューズはカーブラグ部の奥に入ります。交換方法は必ず確認してください(図13)●USB側のヒューズ内蔵タイプです。ヒューズが切れるとUSBポートは使用できなくなります(本製品の充電状況お知らせランプが点灯しない状態)。なお、USB側のヒューズは交換できません。●移動時等の振動が多い場所やホコリ・湿気の多い場所では使用しないでください。



**植屋ヤック株式会社**  
 〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地  
 TEL 0564-24-2421 FAX 0564-24-2827  
 URL http://www.yacjp.co.jp

商品に関するお問い合わせは...  
 お客様相談室 0564-88-0773(直通)  
 受付時間 月～金(祝日除く) 9:30～17:30